

製品名: サルコグリカン β ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17607**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 -20°C で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	43kDa

抗原情報

遺伝子名	SGCB
別名	SGCB; Beta-sarcoglycan; Beta-SG; 43 kDa dystrophin-associated glycoprotein; 43DAG; A3b
遺伝子 ID	6443.0
SwissProt ID	Q16585
免疫原	抗血清はヒトサルコグリカン β 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 87-136

背景

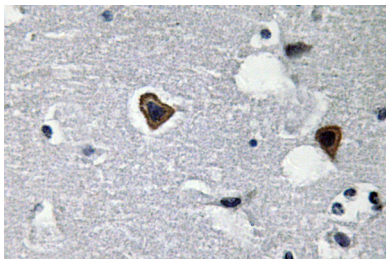
この遺伝子はサルコグリカンファミリーのメンバーをコードしています。サルコグリカンは、ジストロフィン-糖タンパク質複合体の膜貫通型構成要素であり、筋線維膜の安定化と筋細胞骨格と細胞外マトリックスの連結に関与しています。この遺伝子の変異は、肢

帯型筋ジストロフィーと関連付けられています。[RefSeq 提供、2008 年 10 月]、疾患: SGCB の欠陥は、肢帯型筋ジストロフィー 2E 型 (LGMD2E) の原因です[MIM:604286]。LGMD2E は常染色体劣性疾患です。機能:サルコグリカン複合体の成分であり、ジストロフィン糖タンパク質複合体のサブ複合体で、F-アクチン細胞骨格と細胞外マトリックスを結び付けます。オンライン情報:LGMD2E には SGCB 変異があります。PTM:ジスルフィド結合が存在します。類似性:サルコグリカン ベータ/デルタ/ガンマ/ゼータ ファミリーに属します。サブユニット:架橋して 2 つの主要なサブ複合体を形成します。1 つは SGCB、SGCD、SGCG から成り、もう 1 つは SGCB と SGCD から成ります。SGCB と SGCG の結びつきは特に強く、SGCA は他のサルコグリカンと緩く結びついています。組織特異性:心臓と骨格筋で最も高く発現します。脳、腎臓、胎盤、脾臓、肺では低く発現します。胎児の脳では高く発現します。胎児の肺、腎臓、肝臓にも見られます。

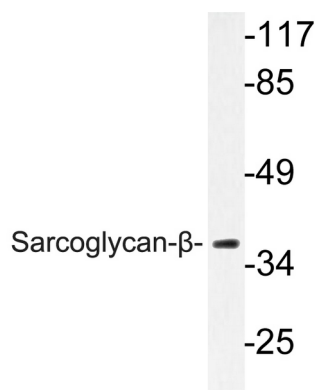
研究分野

肥大型心筋症 (HCM)、不整脈性右室心筋症 (ARVC)、拡張型心筋症、ウイルス性心筋炎

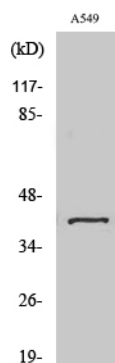
画像データ



パラフィン包埋ヒト脳組織におけるサルコグリカン β 抗体の免疫組織化学分析。



サルコグリカン β 抗体を使用した A549 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



サルコグリカン β ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析